

令和2年度

第1回岩沼市総合教育会議

議事録

1. 招集日時 令和2年5月21日（木）午後3時00分
2. 招集場所 岩沼市役所 6階 研修室A・B
3. 協議 新型コロナウイルス感染防止対策にかかる今年度の学校教育について
4. 出席者 菊地啓夫市長、百井崇教育長、佐藤雅晴教育長職務代理者
小林修子委員、南館公雄委員、氏家真由美委員
5. 出席補助職員
鈴木隆夫副市長、星幸浩総務部長、新妻敏幸市民経済部長
高橋広昭健康福祉部長、菅原伸浩建設部長
石垣茂教育次長兼教育総務課長事務取扱、矢口晃参事兼学校教育課長
沼田輝明生涯学習課長兼スポーツ振興課長、遠藤大輔政策企画課長
6. 欠席委員 なし
7. 傍聴者 6名
8. 本会議の書記
山下真理子教育総務課主幹兼総務係長
鈴木琴美教育総務課主査
9. 開会 午後3時00分
10. 閉会 午後4時20分
11. 議事録署名人
小林修子委員
12. 事務局職員
石垣茂教育次長兼教育総務課長事務取扱
山下真理子教育総務課主幹兼総務係長
鈴木琴美教育総務課主査
13. 議事の経過
以下のとおり

石垣教育次長兼総務課長事務取扱

只今より令和2年度第1回岩沼市総合教育会議を開会いたします。

はじめに、菊地市長より開会の挨拶をお願いします。

菊地市長

お忙しいところ御出席いただき、ありがとうございます。問題、課題がある中ではありますが、意見を交換させていただきながら、岩沼市のより良い教育、安心して教育が受けられる環境づくりに取り組んでいきたいと思っておりますので御協力をお願いします。

新型コロナウイルスに対し、今、世界が立ち向かっています。岩沼市でも、早く日常が取り戻せるように、まずは健康が維持でき、経済が活性化するよう、様々な手を打っているところです。3月2日からの学校臨時休業が、これほど長引くとは思っていませんでした。教育委員会の皆さん、事務局の皆さんは大変苦慮していることと思っておりますが、自粛に伴う休業期間の教育をこれから取り戻すことに掛かっていますので、市が一丸となって取り組んでいく必要があると思っております。皆さんの協力をぜひお願いします。

5月14日に緊急事態宣言が解除されたとは言え、まだまだ油断はできません。第2波、第3波が来るであろうということを踏まえ、教育委員会でもしっかりと取り組んでいただきたいですし、市でも対応していきたいと思っております。

6月1日から、学校が本格的に始まる予定です。市では5月18日から公共施設の開放を行っており、学校でも分散登校が始まりました。6月1日の授業再開に向けて準備を進めておりますので、市でもしっかりと支えていきたいと思っております。文部科学省からは、小1、小6、中3の優先登校等の指針が出されました。その指針に基づきながら授業に取り組んでいくようになります。夏季休業の短縮をすることで、子どもたちが可哀相な面もありますが、できるだけ支えていきたいと思っております。教育委員会では、学校臨時休業中の学習支援として、ラジオ学校、家庭と学校をつなぐ双方向の郵便など、今、最大限やれることを工夫してやっております。第2波、第3波が来たときに、休業の可能性があるので、我々は早急に準備を進めていきたいと思っております。特にICT環境の整備を進めるということで、岩沼市ではいち早く手を挙げ、推進体制に入りましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一時的に中断してしまいました。今回、緊急事態宣言が解除されたことから、市では再度推進していきます。まずは、道具が無ければどうしようもない面がありますので、先生方にも協力をいただきながら、機器の確保、

環境整備に最大限の努力をしていきます。緊急事態宣言が出た地域を先に整備するという国の考えがあり、関東は7月頃、東北など他の地域は3月頃までに機器を揃えるという意向ですが、万が一を考えると待っていただけません。先生方にも事業を活かせる様に研修を積んでいただければと思います。

緊急事態宣言が解除されても、まだ油断はできず、3密を避ける、県外、特に関東方面への行き来や大規模イベント開催の自粛などは続けながら、徐々に日常を取り戻していきたいと思います。

令和2年度は、学校の環境整備予算として4億2000万円とさせていただきました。玉小体育館天井改修、玉中トイレ洋式化、西小体育館長寿命化大規模改修、北中体育館屋根改修を行います。ICT関係では、小中学校で端末を約4000台揃える予算を元年度補正予算において確保しております。現在、先にネットワークの整備を進めつつ、端末の確保に向けて準備を進めています。

本日は、情報提供させていただきながら、御意見を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

石垣教育次長兼総務課長事務取扱

続きまして、教育委員会を代表しまして、百井教育長より挨拶をお願いします。

百井教育長

本日は、お集まりいただきありがとうございます。学校が臨時休業になり、その空白になった期間をどのように取り戻していくか、各学校で計画を見直しています。日数的には何とかありますが、行事が数多く変更になり、子どもたちに不自由な思いをさせていますので、それをカバーできるように各学校で考えています。

これまでの教育計画では学校組織として身動きが取れない状態であったことから、この臨時休業を、学校教育そのものを考え直す良い機会として捉え、各学校で考えております。子どもたちにとって、令和2年度がマイナスの年にならないように、できればプラスに転じるようにと考えています。

御意見をいただきながら考えてまいりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

石垣教育次長兼総務課長事務取扱

それでは会議に入らせていただきますが、総合教育会議の議長は、運営要綱第4条の規定により、市長が務めることになっております。ここからは菊地市長に会議を進めて

いただきたいと思います。なお、協議事項は「新型コロナウイルス感染症防止対策にかかる今年度の学校教育について」としてありますが、公共施設の再開についても含めて御協議いただければと思います。よろしくお願いいたします。

菊地市長

規定により議長を務めさせていただきます。はじめに、議事録署名員を指名させていただきます。今回は小林委員に署名をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

進め方ですが、先に事務局から説明をさせていただき、その後、それぞれの委員から御意見をいただきたいと思います。

さっそく協議に入りたいと思います。「新型コロナウイルス感染症防止対策にかかる今年度の学校教育について」、事務局から説明をお願いします。

石垣教育次長兼総務課長事務取扱

新型コロナウイルス感染防止対策に係る教育委員会の対応等を報告いたします。

教育総務課より3点報告いたします。

1点目、小・中学校の臨時休業及び再開についてです。国からの全国一斉学校臨時休業要請を受け、市内小・中学校を3月2日から春休み前まで臨時休業としました。臨時休業は新学期以降も継続され、4月20日、5月7日へと学校再開日の延期が繰り返されましたが、6月1日から再開することになりました。

入学式は、小学校が6月1日の午後、中学校が同日の午前に行うこととし、出席者は児童生徒、保護者1名、学校職員のみで行い、来賓なし、時間短縮と規模の縮小を図ります。学校再開後は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで、授業や部活動を行うこととします。

また、今後は学校行事の見直しなどによる学習時間の確保を図ってまいります。

2点目、夏季休業期間の短縮についてです。学校臨時休業に伴い、学習時間確保策のひとつとして学校の夏季休業期間を短縮します。先ほどの教育委員会定例会で御承認いただき、8月8日から19日までの12日間を夏季休業期間といたします。

3点目、5月8日金曜日に開催された市議会臨時会についてです。議決されました令和2年度一般会計補正予算（第1号）において、新型コロナウイルス対策に係る教育委員会関連予算として、学習課題等の学校・児童生徒双方向のやり取りに要する郵送代、就学援助受給対象児童生徒を対象とした食事支援のための商品券配布に要する経費、給食食

材キャンセル代等に対する補助金などの予算をお認めいただきました。

また、質疑の中では、商品券配布の詳細について、休業期間中の学習支援内容と学校再開後の対応について、ICT環境の整備推進とそれに合わせた教員の更なるスキルアップについてなどの質問がございました。

今年度行う学校環境整備についてもお話させていただきます。建物の面では、昨年度からの継続事業である岩沼西小学校屋内運動場の長寿命化大規模改修、玉浦小学校屋内運動場の天井改修工事、玉浦中学校トイレ洋式化改修を行います。トイレの洋式化改修は、玉浦中学校を行うことで市内小中学校のトイレ洋式化率 100%になります。ソフト面では、GIGA スクール構想の実現のため、校内ネットワーク整備、児童生徒一人当たり 1 台の端末を整備することを予定しています。学校環境整備には約 8 億 5000 万円の予算をいただいているところです。

矢口参事兼学校教育課長

学校教育課から臨時休業期間中の取組について報告いたします。

まず、学習についての取組です。3月2日から4月19日までは、自主登校の取組を行い、自学自習の支援を行ってまいりました。緊急事態宣言が出された後は、ラジオ学校の放送に向けて準備を始めました。5月1日に第1回の放送を行い、5月11日からは、平日の午前と午後の2回の放送を始め、現在も放送中です。さらに、課題と返信用封筒を家庭に送付し、児童生徒から学習プリントを返送する学習を行いました。児童生徒から学習プリントと一緒にコメントがあったり、教員が採点だけでなくコメントを返したりと双方向のやり取りがありました。5月18日には、2500通を超える返送封筒が教育委員会に届き、各学校に渡しました。

なお、5月18日からは、各学校で分散登校が始まっています。自主登校も同時平行で行っています。臨時休業中に登校する児童生徒には、検温をしてから登校するよう保護者をお願いしています。感染防止に努めると共に、感染防止の意識高揚を図ってまいりました。非接触型体温計を各校に配置し、検温を忘れた子に対応しています。

次に、授業再開後の学校運営についてお話いたします。

まず、感染防止策についてです。児童生徒の登校に当たっては、自主登校や分散登校同様に、各家庭に検温と健康観察をお願いします。また、家族に感染者、もしくは疑われる症状がないこと、さらに、家族の関係する学校、職場に感染者もしくは疑いがある

人がいないことを確認していただきます。この3点に問題がなければ登校を可とします。教職員についても同様で、問題が無ければ出勤を可とします。

校内での対応では、まず、児童生徒に検温の有無を確認します。マスクの着用と正しい手洗いを徹底させます。教室内では常時換気をし、定期的に学校一斉に窓を全開にした換気をします。飛沫が飛びやすい学習活動であったり、組み合ったり接触したりする場面が多い活動については、当分の間行いません。給食前にはしっかり手洗いをするよう、時間を確保します。児童生徒が下校した後は、毎日、机や椅子などの消毒を行います。来校者への対応について、校内で共通理解を図るなど、感染防止に努めてまいります。

次に、学習指導と生活指導についてです。まずは、臨時休業が長期にわたったため、家庭の協力を得ながら、起床時刻と就寝時刻の定着をはかり、学校生活のリズムを取り戻すことを指導していきます。また、保護者や児童生徒が抱える不安や悩みにしっかりと対応していくことができる体制を構築してまいります。

沼田生涯学習課長兼スポーツ振興課長

生涯学習課とスポーツ振興課から3点報告いたします。

1点目、各施設の再開についてです。新型コロナウイルス感染防止対策により、休館にしておりました、市民会館、中央公民館、西公民館、市民図書館、総合体育館、陸上競技場ほか体育施設は、市民及び市内勤務者に限り、再開条件を付して、5月18日から再開しています。

2点目、公民館主催の各種教室の持ち方についてです。今年度の教室受講者の募集については、既に申し込みを終了しており、応募者の皆様には、現在、教室の開催を見合わせており、会場及び講師の調整、開講式の日程調整ができ次第、案内を送付する旨の連絡をしております。開催に当たっては、主催者として安全・安心な配慮を行う必要がありますので、3密対策のひとつとして、会議室等において利用者の間隔を広くするために参加定員を減らし、その分回数を増やすといった工夫を講師と調整しています。

3点目、行事やイベントについてです。本来ですと、毎年6月より4小学校で開講している「のびやか教室」は、9月開講を目標に調整中です。また、6月5日に開催を予定していた「少年の主張」ですが、仙台管内大会及び県大会の中止決定を受け、中止といたしました。

市民会館を会場として 6 月 21 日に予定していた「リバーサイドブラス in2020」、11 月 29 日に予定していた「第九演奏会」については中止といたしました。8 月 23 日に予定しております「マイタウンコンサート in 岩沼」は、1000 席の大ホールの定員を 100 席に減らして開催する予定です。

総合体育館において、7 月 19 日に開催を予定していた「全国高校生銃剣道大会」は中止、10 月 17 日に開催予定である新規事業の「宮城県高校駅伝競走大会」及び 12 月 6 日に予定している「いわぬまエアポートマラソン」につきましては、現在検討中です。

菊地市長

各課から事業説明させていただきました。各委員さんより御意見をいただきたいと思っています。氏家委員、お願いします。

氏家委員

小中学校の臨時休業に伴う行事の中止等、残念な事項はありますが、岩沼市で行ったラジオ学校や郵送でのやり取りといった取組は、子どもたちにとって効果的であったと感じています。新型コロナウイルスの影響で、社会全体が従来やり方を見直すようになってきておりますが、学校につきましてもマイナスではなくプラスに転じられる方向に、様々なことが進んでいくと良いと思っています。ICT の活用等も難しい面があるようですが岩沼市は進めるというお話でしたので、ぜひよろしくをお願いします。

菊地市長

ICT 環境整備が進んでいけば、今回の臨時休業期間において、オンライン授業などができたでしょうが、残念ですが全国的にまだ普及していません。岩沼市では、いち早く予算を確保しましたが、新型コロナウイルスのために事業が動かなくなりました。これを進めなければ世界で活躍できないと思われまます。ICT 機器は、エアコン整備のときと同様に国中で奪い合いになると思われまます。国では大都市近郊から先に整備する意向ですが、岩沼市では、なるべく早く整備するよう取り組んでいきます。

南館委員、お願いします。

南館委員

小中学校の再開を仙南地区が同時に 6 月 1 日からできることになり、良かったと思います。長い目で見れば、皆が同じ状況で苦勞しているのです、平等と見られる面もありますが、特に小学 6 年生、中学 3 年生の保護者は教育の遅れが大変心配なところだと

思います。

岩沼市で行ったラジオ学校では、皆が集中して聴いてくれていたとのこと、また、学校からの課題を返送する際に、感謝のメモが入っていたとのことをお聞きしました。学校は休みであったけれども、学校があることを意識しながら過ごすことができていたのだと思います。また、お互いに感染させない思いやりや協力する気持ちが育まれたのではないかと考えております。今後は、第2波、第3波を考えながら対策を練っていただきたいと思います。

菊地市長

臨時休業では、学校と子どもたちがやり取りすることは難しいと思っていました。始業式や入学式を行っていないこともあり、できるだけ先生方が子どもたちと向き合う取り組みが大事になると思います。休業期間を小刻みに延ばしてしまったので、子どもたちも混乱したと思います。どのようにアプローチしたら良いか、教育長とも随分お話をさせていただきました。クラスメイトや担任の先生が分からない中で授業の形態をとることは難しかったと思います。その辺りについて、教育長いかがですか。

百井教育長

課題を送る際、会ったこともない先生から文書が来るのは不安に思うのではないかと心配しましたが、早く学校に行きたいという子どもたちの思いも見られ、ささやかではありますが繋がりができたように思います。岩沼市は入学式、始業式を行っていませんので、お互いの顔が見えずにつらい面がありましたが、学校だよりや自主登校の対応など、担任が努力し、工夫して繋がりを持とうとしていました。

今、子どもたちに何を指導するか見直しています。夏季休業を短縮することで、通常200日の授業日数のところ、177日まで確保でき、今年度できない行事の時間を授業時間に充てれば間に合います。学校の楽しみも感じさせながら、限りある中で取り戻していきたいと考えています。

菊地市長

手探りで進めていかざるを得ないことを申し訳なく思います。前に進む気持ちを持つためにも、学校との繋がりが大事だと思います。先生方は大変苦勞したと思います。市では学校と児童館が一体となり、子どもたちの居場所づくりとして受入をしていましたが、そこでの感染も心配しました。矢口課長、現場担当として御意見はありますか。

矢口参事兼学校教育課長

ICT 環境が揃っていれば、他の策があったかと思いますが、それができない中、この緊急事態にスピード感を持って何ができるか考えたのが、ラジオと郵便という策でした。子どもたちは登校していないけれども、このことにより学校との結びつきができたように思います。自主登校でも結びつきはできますが、中には感染を心配して、登校できない子もいます。ラジオで先生の声聞かせることが、子どもたちにとってプラスになったのではないかと感じています。

菊地市長

オンライン授業の環境は、私立学校にはあるでしょうが、公立ではまだ揃っていないところが多いので、これからの課題だと思われまます。

百井教育長

一つの学校において家庭環境を調査したところ、Wi-Fi 環境が無い家庭は 8%程度、スマートフォンだけという家庭が 10%、82%は Wi-Fi 環境があるとのこと。今後、家庭の中に使える機器がどれだけあるか調査し、児童生徒一人ひとりに端末を持たせるまでの繋ぎについて考えたいと思っています。

菊地市長

できるだけ早く環境を整え、備えておかなければと思っています。

小林委員、お願いします。

小林委員

新型コロナウイルスの関係で、ICT 環境や家庭でのオンライン授業が 1 番の話題になっていますが、本来なら、学校や家庭でゆっくり使い方を学び、少しずつ ICT 機器に慣れる過程があれば、より良かったと思います。すぐに ICT 環境が整わないのであれば、今は先生方の研修やウォーミングアップの時期と捉え、専門家を招いた研修などに取り組んでいただければありがたいと思います。ICT の授業が本格化しても、機器の運用に長けた人が先生方のアドバイザーとしてサポートしてくれると、より授業が活きてくると思いますので、今のうちに人を確保することも必要ではないかと思っています。

岩沼市で、子どもたちと学校が郵便で双方向のやり取りをし、コミュニケーションが取れているとお聞きして、とてもほっとした思いがいたしました。オンラインも大事ですが、アナログ的な接触も大事だと思います。両方に必要なものは何かというと「人」

です。働き方改革を進めている中、先生方の負担が増える事態になっていますので、第2波、第3波のことも考え、サポートしてくれる人がいれば良いように思います。

菊地市長

熟達されていないうちに、急に新型コロナウイルスの影響で様々な手段が求められ、それを上手く取り入れられない我々にも責任があるのだと思います。先生方にはICT機器の使い方を急いで修練してもらい、子どもたちに早く慣れさせたいと思います。そのためには、まず、道具が大事ですし、アドバイザーもいれば良いと思います。今後さらに通信が発達してくるので、子どもたちには少しずつ体験させ、レベルを上げていければと思います。

百井教育長

近々、6年生を対象に、今ある機器でズームを用いて双方向のやり取りをする実験をしたいと考えています。ICT機器を使う事は、高度な内容なので努力していきたいと思います。

郵便のやり取りの中で、返ってきた封筒に「御中」と書かれていたりするのを見ると、親も一緒に取り組んでくれているのだと思い、嬉しく思いました。

菊地市長

佐藤委員、お願いします。

佐藤職務代理者

3月2日からの臨時休業は、学校にとって寝耳に水のことで、準備もできないまま休みに入り、不自由な状況であったと思います。そんな中、岩沼市の先生は、この緊急事態にあるものを利用して、子どもたちとのコミュニケーションを取ることを考えてくれました。オンライン教育が話題になっていますが、対応できる機器がない家庭も10%程度あり、その家庭を切り捨てるわけにはいきません。ラジオや郵送はアナログだという声がありますが、そこに500万円の補正予算をつけてくださったことは素晴らしいことだと思います。教育委員会も学校も一生懸命努力してくださっている、という話をよく伺います。今後、オンライン教育を進める事は後戻りできないことだと思いますが、教職員に頼りすぎているのではないかと心配しています。教科書採択を教育事務所で行っているのですから、オンライン教育についても教科に合った内容を教育事務所ごとに考えるよう、情報推進室があると良いのではないのでしょうか。近隣自治体で足並みを揃える

ためにも、このような働きかけが必要だと思います。オンライン教育は、不登校児童生徒にも役立つと思います。これから財源が潤沢になることは難しいと思われますし、多方面に働きかけることが必要だと思います。

菊地市長

テレワークという働き方が出てきて、今後、常態化していくものと思います。将来を担う子どもたちを導くためにも経験させることが大事だと思います。

百井教育長

今回、非常事態に備える体制を作っておくことが大事であると改めて思いました。不幸な事態ではありますが、学校教育のあり方を考え、家庭との関係を考え、子どもたちの生活を考えて見つめ直す良い機会と捉えています。このような緊急事態に、自分の生活を律しながら過ごすことができる子どもたちの育成が必要だと思います。共稼ぎの家庭が多い中、家にいる子どもたちの面倒を誰が見るのか、学校の役割を考える機会になりました。学校では、授業計画を見直し、授業内容を短い時間で圧縮できないか検討しています。また、中学生が部活をできなくなってしまったので、中体連に代替になるものを市内で何かできないか、4中学校で考えています。御意見をいただきながら、今までのデメリットを取り返すものを検討していきたいと思います。

菊地市長

部活動や中体連が無くなり、弊害が出るのではないかと心配しています。

百井教育長

中学3年生が活躍する機会が奪われてしまったので、思い出になるようなものを何かできないか考えています。

佐藤職務代理者

タブレットを既に持っている家庭も多いと思います。家庭にあるものを学校に持ってきて、教育で運用する手段を取っている教育委員会はあるのでしょうか。IPアドレスを配布して管理するなど、全児童生徒にタブレットを配布しなくてもできることがあるように思います。

百井教育長

そういった教育委員会があるのか情報は持っていませんでした。既にある個人のタブレットで運用することは、手段として可能だと思います。具体化はまだですが、県のサ

ーバーにアクセスするという話もあります。皆が持ち帰って自由に使うことができるのが理想ですが、そこまでは家庭に求められません。紙の教科書が無くなり、全てタブレットに入るようになれば変わると思いますが、今は両方ある状況です。タブレットを個人が持つのか、こちらで持つのか、課題になってくると思われます。

菊地市長

我々が用意しなくても、各家庭にあるのが当たり前の時代になるかもしれません。

佐藤職務代理人

技術革新のスピードは早く、5年ごとに変わると言われていています。それに合わせて、全児童生徒分を準備するのに掛かる経費は莫大なものだと思いますので、今後、負担していけるのかという問題があります。

百井教育長

教科書の無償化と結びつくの良いのですが、経費は莫大です。

佐藤職務代理人

むしろ、教職員を増員した方が、教育が充実するように思います。

菊地市長

今回、タブレット端末整備に国庫補助を出す、というのは初めての話でした。最初は児童生徒数の3分の1ずつ整備する予定でしたが、新型コロナウイルス感染の影響で拍車がかかり、全児童生徒を対象に整備することになりました。5年周期後の補助は無いと思われていますが、いずれは端末が各家庭にあるのが当たり前の時代になってくると思われます。これから新たな方向性が出されるように思います。今後の推移を見ていただき、新たな御意見や教育委員会としての方針を出していただければと思います。

公共施設の開放も段階的に行ってきています。3密にならないように、1000人規模のフロアに100人しか入れないというのでは、事業としてはペイできず、イベントの開催は難しいところです。新型コロナウイルス感染が無くなることはないと思われるので、新しい生活様式として利用の仕方を考えていく必要があるのだと思います。公共施設についても御意見ををお願いします。

佐藤職務代理人

ワクチンや予防薬ができるまでは、公共施設の利用を慎重にしていく必要があると思います。公共施設には消毒液など充分にあるのでしょうか。公共施設はマスク着用や消

毒を義務とするくらいの慎重さがあっても良いように思います。

鈴木副市長

十分な量を確保しています。

菊地市長

アルコール消毒液がなかなか手に入らないようですが、第2波に備えてできるだけ入手していきたいと思います。マスクなど、寄附の話もいただいております、市としては若干間に合っている状態です。

佐藤職務代理者

予防薬が無い状況ですので、生活習慣としてマスク着用や消毒を行うよう、啓発活動をしていく必要があると思います。

百井教育長

おっしゃる通りだと思います。

菊地市長

その他、無いようでしたら、本日の会議はこれで終わりたいと思います。

石垣教育次長兼総務課長事務取扱

熱心な御議論、お疲れ様でございました。

以上をもちまして、令和2年度第1回総合教育会議を閉会させていただきます。

(午後4時20分閉会)

この議事録の作成者は、次のとおりである。

教育総務課主幹兼総務係長 山下 真理子

教育総務課主査 鈴木 琴美

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和2年7月30日

議事録署名人 川林 修子